

川崎市自治推進委員会

ニュースレター Vol. 2/平成19年4月号

川崎市総合企画局自治政策部



区民が主役となって地域社会の課題の解決に向けた審議を行う区民会議

第2回「川崎市自治推進委員会」が、平成19年3月29日(木)に高津区役所保健ホールで開催されました。今回の委員会では、平成18年度から各区で本格的にスタートし、川崎市の自治を担う仕組みの一つとして期待される区民会議について、現状の報告があり、意見交換を行いました。

区民会議の仕組み

川崎市自治基本条例に基づき、区役所が「地域の課題を自ら発見し解決できる市民協働拠点」となることを目指して、区行政改革の下、その柱のひとつである「地域住民の総意に基づく自治を实践する区役所」を実現するために区民会議を設置し、平成18年度から各区で本格実施しました。

区民会議は、地域社会の課題を把握し、解決を図るための方針及び方策などを審議する機関（区民会議条例第3条）であり、区域内の活動団体からの推薦や公募、区長推薦の計20名以内で構成されます（同第4条）。区長は区民会議の審議結果を尊重し、区民との協働、関係機関との連携により、暮らしやすい地域社会の形成に努めます（同第10条）。



あいさつする市長と出席者

区民会議の取組の報告

中原区民会議

平成18年度の審議テーマのひとつは「地域で支える高齢社会」です。具体的には、区内2地区の【すこやか活動】を取りあげ、活動内容等を取材して作成したビデオ資料を元にして、地域で実際に活動している関係者の方を招いて活動内容の報告を受け、審議しています。

既存の活動の課題や運営状況等を題材に、より具体的な議論がなされ、意見交換も非常に活発です。議論がきっかけに、自分の地域で新たに【すこやか活動】を立ち上げた委員もあり、少しずつではありますが、区民会議の議論の成果が現れてきています。



報告する木場田区長



大戸地区のすこやか活動

宮前区民会議

審議課題のうち、高齢者福祉と子育て支援に関する課題の解決策について、全区の中で最も早く区民会議から審議結果の報告を受けました。3月には区民会議主催の区民会議フォーラムを開催し、区民会議の活動と審議結果を広く区民に知らせるとともに、区役所からはそれぞれの提案に対する区役所の取組の方向性と行政・区民の役割分担を示しました。

このほかにも、事業提案制度の構築や区ホームページへの区長の日記などの掲載、地域ポータルサイトの開設と運営、団塊の世代に向けた「よろずシニア本舗・みやまえ」の設置など、暮らしやすい地域社会の形成に、積極的に取り組んでいます。



報告する大下区長



宮前区民会議フォーラム

区民会議についての意見交換



☑**梅本委員** 討議時間を最大限活かすためにも、専門部会と全体会の情報共有をしっかりと、活発な意見交換をしていただきたいと思います。会議中の保育の実施など、子育て中の母親も参加しやすい環境をもっと整えてほしいです。



梅本委員

☑**吉田委員** 区によって会議の運営の仕方が全く異なると感じました。報告のあった区は非常に効果的な運営がされていますが、そうではない区の原因を知りたいです。また、他の地域課題に取り組む活動団体とどう連携していくのが、今後、重要になるのではないのでしょうか。

☑**竹井委員** 中原区区民会議では審議内容を委員が



竹井委員

各組織に持ち帰り、実践する意識ができていますが、委員20人だけでは限界もあります。仲間づくりをどう広げていくかがこれからの課題です。課題の内容によって

は、行政主体・区民主体・協働の区分けがされますが、それらをコーディネートし、支援を行なう役割や制度も必要だと思います。区役所にはネットワーク拠点としての役割も期待します。

☑**矢島委員** 思った以上にしっかりと様々なことに取組まれているので、なおさら、もっとPRしなければいけないと感じます。マスメディアに取りあげられるための工夫も必要です。



矢島委員

また、団塊世代にも活躍してもらうようにすべきです。

☑**小島委員長** 区民会議は、調査審議だけの機関では

ありません。宮前区の区民会議フォーラムのように一般の方々との情報交換と対話を重視して、区民会議をより区民に身近なものにする必要があります。

☑**牛山副委員長** 区民会議の役割は区役所機能との関係だけではなく、より幅広い捉え方が必要だと思います。



牛山副委員長

試行錯誤の中で進めていき、川崎市の

「区」を発信していくことが必要です。

☑**木場田中原区長** 区民会議における課題は、全て区民の提起によるものです。地域で活動するの方々の中に、区民会議の議論により、その効果を徐々に広げていければ良いと思います。区民会議は区民のみなさんの活動体です。

☑**大下宮前区長** 各区の特徴に応じた区民会議の取組を今後はより戦略的に全国に発信する必要があります。区民会議は区民の参加・協働の仕組みとして魅力ある制度です。

☑**阿部市長** 区役所は地域の取りまとめ役、課題解決



阿部市長

の拠点になります。そのためには住民に密着し、住民からの問題に対応していく必要があります。これを実現していくための仕組みとして

区民会議があります。区民会議は審議だけで終わるのではなく、協働で地域課題解決に取り組むための組織でもあるため、活動実績のある方に委員の中心になっていただいています。一度に全て解決するのではなく、その時点の委員の関心の高いテーマから取組み、広げていければ良いのです。また、団塊の世代の方々にも大いに活躍していただきたいと思います。

次回の委員会は、5月31日(木)18:30～ 高津区役所5階第1、2会議室にて開催します。

「協働」の取組などについて討議する予定です。

※ 5月16日(水)14:00～ いさご会館ホールにて自治推進委員会講演会を開催予定です(先着200名)。

※ 委員会の傍聴が可能ですので、興味を持たれた方は、ぜひお越し下さい。



□発行／お問い合わせ先:川崎市総合企画局自治政策部

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

TEL 044(200)2094 FAX 044(200)3800 e-mail 20ziti@city.kawasaki.jp

ホームページ <http://www.city.kawasaki.jp/20/20bunken/home/site/jichi/index.htm>

※ ホームページを随時更新しております。あわせてご覧ください。

※ また、「かわさきメールニュース」の「かわさき自治マガジン」からも最新情報をお届けします。

